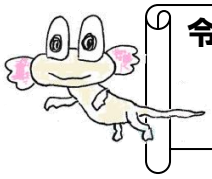
令和元年８月
発行元：NPO 法人　消費者サポートネット和歌山

和歌山暮らしの情報アンテナ　第 33号



令和元年度総会記念セミナー

「知って得する天気予報の見方」

5 月 26 日（日）気象工学研究所の吉村真希氏（気象予防士・防災士）をお招きして、令和元年度消費者ネットワーク和歌山の消費者セミナーを開催致しました。「知って得する天気予報の見方」と題して、64 名の方々のご参加がありました。

吉村氏はお天気キャスターとしてテレビや MBS ラジオ（AM1179）に出演しています。「災害時、ラジオで防災情報を聞こうと思っても、どのチャンネルに合わせてよいか分からないと言う人が多いようです。普段からラジオを聞く習慣をつけておいて欲しい。」とおっしゃっていました。

吉村氏が普段から天気予報を解説する時、気を付けている点は日常に役立つ情報を伝えることだそうです。例えば野菜ソムリエの資格を保有しているので季節の野菜を取り入れたレシピを紹介したり、視聴者の頭の中で天気予報の空の移り変わりをイメージできるように話すよう心がけている点です。

天気予報については、吉村氏は予報の中で「大気の状態が不安定」のコメントに注目すべきであることを挙げていました。上空に冷たい空気が流れ、下層に暖かい空気（ダルマが逆さになっている状態）になると不安定な状態で、強い雨が降る可能性があります。ここ 30 年から 40 年の間で非常に強い雨が 1.5 倍に増えているそうです。不安定な状況では雷も発生するので落雷には十分気を付けたいものです。ここで重要なのは、市町村からの防災情報に従って行動することです。

大雨・洪水警戒レベルの５段階区分

警戒レベル	住民が取るべき行動	住民が自ら避難の判断を下す際に参考になる情報	行政が住民に行動を促す情報
5	既に災害が発生。命を守る最善の行動を	氾濫発生情報、大雨特別警報（※）	災害発生情報
4	災害が発生する恐れが極めて高く、緊急避難する	氾濫危険情報、大雨警報（土砂災害）や洪水警報の危険度分布（非常に危険）、土砂災害警戒情報	避難指示、避難勧告
3	高齢者らは避難。それ以外の人も準備を進め、自主避難を	氾濫警戒情報、大雨警報（土砂災害）、洪水警報、大雨警報（土砂災害）や洪水警報の危険度分布（警戒）	避難準備・高齢者等避難開始
2	避難の準備を進め、避難先やルートの確認を	氾濫注意情報、大雨警報（土砂災害）や洪水警報の危険度分布（注意）	大雨注意報、洪水注意報
1	災害への心構えを	――	警報級の大雨が降る恐れがあるとの予報

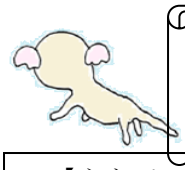
※大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないが、既に災害が発生している可能性が高い情報として取り扱う

以前の災害の時にも避難情報が出されていましたが、避難しなかった住民も多く、被害者が多数出ました。そこで政府は気象庁と自治体が出す情報を５段階の警戒レベルに整理しました。（左表）

避難準備、避難勧告はこの段階で逃げてくださいということです。避難指示は更に緊急事態です。速やかに非難を終えている状態をいいます。大雨特別警報は、命を守る行動を取ってくださいという意味ですので逃げても何もなかったと思うよりも逃げた後、何事もなくて良かった、と思うようにしたいものです。

最後に、地球の温度も上昇し、地球温暖化が進んでいます。サクラの開花が早まり紅葉が遅くなっているそうです。夏が長くなり、冬が短くなっているといいます。人間活動の影響によって、地球環境に大きな負担をかけています。私たち、一人ひとりが、エコロジーな生活を意識することで地球を守っていくことが不可欠です。

セミナー後半では、分かりやすくクイズ形式にして解説をいただき、大変勉強になりました。



消費者のコラム
アポ電強盗にご用心！！

【主な手口】

防災アンケート、警察署、消防署、大学の防災研究所と称して電話がかかり、家の情報を聞き出し強盗に入るという事件が発生しています。凶悪な犯行で死者も出ていますので十分に注意してください。他にも町内会役員を騙って個人情報を聞き出す手口も発生しています。うかつに答えると犯罪に巻き込まれるリスクが上がります。以下の質問には要注意！

〇自宅に幾ら現金を置いているか？

〇世帯人数や家族構成の質問（日中は何人居るのか？）

※答えてしまった場合は要注意です。直ぐに家族や相談機関へ問い合わせてください。

（対処方法）

① 家族構成や資産状況を聞かれたら直ぐに電話を切りましょう。また、家族を名乗る電話でも一度切ってから掛け直すことでトラブルを避けられます。

② 電話番号通知サービスを利用して着信電話番号を表示させ、知らない番号には出ない。留守番機能や録音機能付き電話機の設置などを検討してください。とても有効です。

③ 電話を取った際に、聞いた覚えのない声の人だったら、より慎重な電話対応をしてください。詐欺師や不審者の可能性があるので要注意です。

※いつ誰のところに電話がかかるか分かりません。今までなかったから大丈夫ではないのです。不審に思うことがあったら以下の相談機関をご利用ください。

警察＃９１１０、消費者ホットライン１８８、最寄りの役所へご相談ください。

トピックス
スマホのアプリを使った「QR コード決済」ってどんなもの？

10 月から消費税が 10%になることから、国は増税の緩和策としてキャッシュレス決済を行うとポイントを最大 5%還元すると発表し（2020 年 6 月までの予定）、一気にキャッシュレスという言葉が話題になりました。そこで今回は「QR コード決済」を取り上げます。

レジの前の QR コードにスマホをかざしている人を見かけたことはありませんか。

方法は意外に簡単　①〇〇ペイのアプリをダウンロード

②お金をチャージしておく（コンビニでもチャージできる）

③レジの前の〇〇ペイアプリの QR コードを読み取る

④アプリに金額を入力して決済ボタンを押し、お店の人に画面を見せて終了

もっと簡単に、スマホに QR コードやバーコードを表示させて店舗の専用機器で読み取ってもらう方法もあります。

現在、スマートフォンでの QR コード決済はアプリごとに違っていて、支払いのたびに店側・利用者側の双方でアプリを指定する必要があります。そのため利便性を図る目的で総務省の QR コード決済の統一規格「JPQR」普及事業が 8 月 1 日から岩手・長野・和歌山・福岡の 4 県で試験的にスタートします。規格が統一されると、アプリにかかわらず、QR コードを読み取るだけで支払うことができるようになり、より簡便になります。

「QR コード決済」の最大の魅力はポイント還元ではないでしょうか。各社様々なキャンペーンを打ち出していますが、それにひかれて不要な買い物をしてしまいがち。現金と同じ感覚でしっかり管理することが大切です。さらにスマホの充電切れや停電にも弱いことも覚えておきましょう。セキュリティー面では各社対策を練っていますが、万全とは言えません。スマホにはロックをかけ、パスワードはしっかり管理しましょう。